

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

ストップウォッチの使い方

①ボタンを押してストップウォッチモードにします。

●ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。

●計測時間を超えると、自動的に“0”に戻って計測を続けます。

●計測終了後④ボタンを押すと、計測値が“0”に戻ります。(リセット)

●計測中に①ボタンを押すと表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

●スプリット計測を解除するには、もう一度④ボタンを押します。

●スタート5秒前より電子音でカウントダウンすることもできます。

●ストップウォッチモードでバックライトを点灯させるときは、⑨ボタンを押します。



通常計測

① → ② → ③ → ④

積算計測

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに①ボタンを押してスタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム計測 (途中経過時間計測)

① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥

1・2着同時計測

① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥

★カウントダウンスタート

リセット後、⑨ボタンを押します。続けて①ボタンを押すとカウントダウンを開始し、5秒後に自動スタートします。

電源について

- 本機は太陽電池で発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
- 光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機がかかれたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
- 安定してご使用いただくために、なるべく日に当たるようにしてお使いください。

●電池容量インジケータの見方

レベル1	通常動作可能	(1583)
レベル2	通常動作可能	(1584)
レベル3	アラーム・時報の報音不可、EL点灯不可	
レベル4	アラーム・時報の報音不可、EL点灯不可、液晶表示不可	
レベル5	時計発振不可(時計機能停止)、テレメデータ消去	

※レベル3およびレベル4では、アラーム・時報がオンでも報音しません。このとき、アラームオンマークおよび時報オンマークの横に“X”が点灯します。
※レベル4で液晶表示が消えているときにいずれかのボタンを押すと、2~3分間時刻・カレンダーを表示します。
※レベル4およびレベル5ではデモ表示を行いません。
※レベル5になっても、充電を開始すると再び使えるようになりますが、表示回復後に時刻・カレンダーを合わせてください。

●充電時のご注意

充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどをしないようご注意ください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たったり、高温になる所

●節電機能

本機をしばらく使用しないときは、消費電流を控える「節電モード」にして、なるべく明るいうちに保管してください。

- 節電モードにするには、いずれのモードで通常状態(点滅なし)のときに⑨ボタンを1~2秒間押し続けます。節電モードを解除するには、いずれかのボタンを押します。
- 節電モードでは“SLEEP”マークのみ点灯します。
- アラーム・時報、タイマーの電子音は鳴りません。
- ELバックライトは点灯しません。

表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾げるだけで、暗いときには自動的に発光するオートライト機能もあります。

●ボタンを押して発光させる~手動発光~

時刻モード・テレメモモード・アラームモードのとき

①ボタンを押します

ストップウォッチモード・タイマーモードのとき

②ボタンを押します

→文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。
※ELパネル発光中にもう一度ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。ただし、ボタンを5秒間以上押し続けるとその時点で発光が止まります。

●時計を傾けて発光させる~自動発光(オートライト)~

オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに文字板が自動発光する便利な機能です。

※明るいときは自動発光しません。

準備 時刻モードのときに、

⑨ボタンを約1秒間押しします

→オートライトオンマーク(AUTO) が点灯し、オンになります。
※もう一度⑨ボタンを約1秒間押しすると、オートライトオンマーク(AUTO) が消えてオフになります。

文字板を発光させる



※オートライトを使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
※このとき、文字板の左右(3時~9時方向)の角度を±15°以内においてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



＜オートライトご使用時の注意＞

- オートライトを頻繁に使用すると、二次電池の消費が大きくなります。オートライトをご使用になるときは、昼間はできるだけ太陽光に当てて充電してください。例) 太陽光に当てて10分間充電すると、オートライトが10~20回使用できます。
- 時計を傾けたとき、ELパネルの発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ELパネル発光後、時計を傾けたままにしていても発光は約2秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときはオフにしておいてください。
※時計を「手首の内側」につけるときは、できるだけオートライトをオフにしておいてください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときは、もう一度水平状態から傾け直してみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下から振りあげてみると発光しやすくなります。

＜EL発光についての注意＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 二次電池の容量が少ないとき(レベル3・4・5)は、ELバックライトは発光しません。
- 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

タイマーの使い方

①ボタンを押してタイマーモードにします。

●秒単位でセットできます。

●セットした時間を経過すると、10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

●タイムアップ予告音を鳴らすこともできます。

●タイムアップ後も自動的に計測を繰り返す、オートリピートタイマーとしても使えます。

●タイマーモードでバックライトを点灯させるときは、⑨ボタンを押します。

※オートリピートタイマーでセット時間が10秒以内のとき、タイムアップ音は1秒間だけ鳴ります。

※タイマー時間のセットで点滅表示のまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

●タイマー時間のセット

- ①ボタンを1~2秒間押し続けます。→時が点滅します。
- ②ボタンを押すと、点滅箇所が「時」→「分」→「秒」→…と移動します。
- セットしたい箇所を点滅させたら、④ボタンまたは⑨ボタンを押します。
→④ボタン=1つ戻る
→⑨ボタン=1つ進む
※押し続けると早送りできます。
- 合わせ終わったら、③ボタンを押します。点滅が止まります。

●タイマーの使い方

①ボタンを押します。押しごとにスタート/ストップします。
※計測停止時に④ボタンを押すと計測前の時間に戻ります。(リセット状態)
※ロスタイムがあるときは、計測中に①ボタンでストップ後、もう一度①ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●鳴っている電子音を止める

いずれかのボタンを押します。



●タイムアップ予告音のオン/オフ

タイムアップ予告音はタイムアップの5・4・3・2・1分前、50・40・30・20・10・5・4・3・2・1秒前に電子音が鳴ります。
※セット時間が10分以下のときは、途中から鳴ります。
オン/オフはリセット状態または計測中に④ボタンを押すごとに、オン()表示)とオフが切り替わります。

●タイマー方法を選ぶ

- リピートタイマー(繰り返し計測)
タイムアップすると、減算計測が止まります。約10秒後にセット時間を表示します。
- オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)
タイムアップしても、ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返して計測し続けます。

タイマー時間のセットのときに①ボタンを押します。押しごとに“AUTO”が表示したり消えたりします。“AUTO”が表示されているときにオートリピートタイマーとなります。
※“AUTO”はセット状態(点滅中)のときのみ表示されます。

★ご注意

短い時間設定のオートリピートタイマーを繰り返し使用しますと、二次電池の容量が減り、(レベル3以下になると)報音しくくなります。

時刻・カレンダーの合わせ方

時刻モードにします。

※「時」のセットのとき午前(AM)/午後(PM)、24時間制にご注意ください。

※「年」は1995~2039年の範囲内でセットできます。

※曜日は年月日を合わせれば自動セットされます。

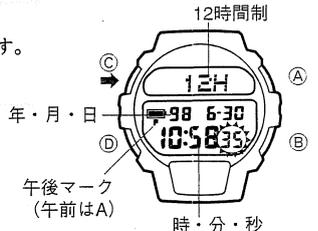
※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

※時刻・カレンダーのセットで点滅表示のまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

●秒の合わせ方

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

- ①ボタンを約1秒間押し続けます。→「秒」が点滅します。
- 時報に合わせて⑨ボタンを押すと00秒になります。
→00~29秒のとき: 切り捨てられる
→30~59秒のとき: 1分繰り上がる
※時報は「時報サービス117番」が便利です。
- 合わせ終わったら、③ボタンを押します。→点滅が止まります。



●時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換などで時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

- ①ボタンを約1秒間押し続けます。→「秒」が点滅します。
- ②ボタンを押すごとに、点滅箇所が「時」→「分」→「12/24時間制切替」→「年」→「月」→「日」→…と移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。
- ④ボタンまたは⑨ボタンを押します。
→④ボタン=1つ戻る
→⑨ボタン=1つ進む
※押し続けると早送りできます。
※12/24時間制切り替えは、⑨ボタンを押すと12時間制と24時間制が切り替わります。
- 合わせ終わったら、③ボタンを押します。→点滅が止まります。



ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なバッキン交換をおすすめします。
- 二次電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

●低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻ればボタンは正常に作動します。

●低温下でアラームを使用すると表示が見にくくなったり、消えたりすることがあります。常温に戻れば正常に作動します。

ショック ●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気 ●磁気の影響はありません。

薬品類 ●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。なお、二次電池の消耗を避けるためなるべく光の当たる場所、[「節電モード」]にして保管してください。

■お手入れについて

お手入れ ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れ ●「サビ」

を怠ると ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。●汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。●表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■データ保護について

二次電池切れや二次電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・二次電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- ・長時間、直射日光に当てますと、色あせる場合があります。
- ・長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- ・長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- ・プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■電池交換について

最初の電池 ●二次電池は工場出荷時に充電されていますので、約6ヶ月間は充電しなくても動作します。

電池交換 ●通常の日常生活で太陽電池が受ける光により二次電池は充電されますので、二次電池の交換は必要ありません。

ただし、長年の充電と放電(特に完全放電)の繰り返しにより性能が落ちて充電に時間が長いかかるときは、お買い上げ店または、カシオテクノ・サービスステーションに二次電池の交換をお申し付けください。

※最初の二次電池は時計の機能や性能をチェックするためのもので、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※なお、二次電池の交換は保証期間内でも有料となります。

●本機は、太陽電池からの電力を二次電池へ充電する回路を備えていますので、専用の二次電池(ML2020)以外の電池を入れたら時計の破損の原因になります。専用の二次電池(ML2020)以外の電池は絶対に入れないでください。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では各モードを表示し続けます。(この間、通常のボタン操作はできません)

●デモ表示の解除

◎ボタンを1~2秒間(確認音が鳴るまで)押し続けます。

●デモ表示の設定

◎ボタンを1~2秒間押し続けて「節電モード」にします。●※節電モードについては「電源について」をご覧ください。●続けて◎ボタンを1~2秒間押し続けるとデモ表示になります。

※二次電池の容量が少ないときは、デモ表示になりません。



製品仕様

水晶発振周波数: 32,768 Hz

精度: 平均月差±15秒以内

基本機能: 時刻表示=時・分・秒 カレンダー表示=年・月・日・曜日

レモ: 名前=8文字、電話番号=12桁、メモリー件数=最大30件

自動ソート、残りメモリー数表示

アラーム: 時刻アラーム 5本

セット内容=月・日・時・分 電子音=20秒間

時報 毎正時に2回電子音で報知

ストップウォッチ: 計測単位=1/100秒

計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計)

通常計測、積算計測、スプリットタイム計測、1・2着同時計測

カウントダウン(5秒)スタート機能付

タイマー: 計測単位=1/10秒 計測範囲24時間 セット単位=1秒

計測機能=通常計測、ロスタイム計測

タイムアップを10秒間の電子音で報知

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切替、モニターアラーム、節電機能、デモ機能、ELバックライト

操作温度範囲: -20℃~60℃

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、C-MOS-LSI

二次電池: ML-2020(電池別途販売)

※電池はカシオ指定のものをご使用ください。

二次電池寿命: フル充電からレベル3になるまで 約5ヶ月

1日当たり電子音を20秒間、ELライトを2.5秒間使用した場合